

令和2年度 施設の自己評価表

【1 運営管理】

①	保育理念・基本方針の周知を図っている。	A	
②	定期的な職員会議などを通して、職員の資質向上、業務効率化や改善などに努めている。	A	
③	園長や主任、職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	B	役割を明確にし、継続的に見直しを図る体制を整えている。人員数の変動に伴い、柔軟に変更を行った。

【2 守秘義務】

①	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理、保管している。	A	
②	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	

【3 安全・危機管理】

①	事故災害時のマニュアルがあり、職員は確認方法を把握している。	B	紙面、データ保管を実施。
②	外部からの侵入者に対して、対策がなされ、訓練が行われている。	B	
③	緊急時のために医療機関などの連絡先が明示されている。	B	
④	園内の施設整備、遊具等の安全点検は、定期的実施している。	A	

【4 保育環境】

①	美観を大切に、清潔な保育環境を保つ。心地よい環境で過ごすよう清掃を実施する。	C	緑地整備は、菜園活動も行い、次年度継続へのきっかけとなった。建築物に関する、恒久的な改善箇所の確認を今後も継続的に行って行く。
②	室内の温度、湿度、換気、照明などは、園児の活動に合わせ、配慮している。	A	
③	季節の草花などに触れるなど、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	A	
④	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	A	近隣に瀬名川西公園、長尾川土手などがある。安全確認マップを使用し確認している。

【5 健康管理、衛生】

①	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され、保育に反映させている。	A	
②	園児の日々の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせて保育を心掛けている。	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしつつ、どのように保育をしていくか日々検討を繰り返した。
③	玩具、遊具などについては常に衛生的に保持している。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止対策から、消毒に関する計画や方法を見直した。
④	SIDS(乳幼児突然死症候群)や感染症の予防マニュアルが用意されている。	A	紙面、データ保管を実施。社内研修を実施している。

【6 保育内容】

①	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	B	
②	園児に分かりやすい温かな言葉づかいで、穏やかに話をしている	B	
③	基本的生活習慣は、園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	B	
④	園児の発達に応じた玩具や遊具を、質、量ともに適切に用意している	B	柔軟かつ継続的な対応を心掛ける。
⑤	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	B	
⑥	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に着ける配慮をしている	B	お子さまの特性を十分理解し、ルールに拘り過ぎず、気持ちを受け止めながら少しずつルールを伝えていくことを大切にしたい。

【7 食育】

①	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	
②	園児の発達に応じ、食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある。	A	保育室のレイアウト変更に伴い、食事は園庭を見ながら落ち着いた環境でとることができた。
③	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	A	
④	食物アレルギーのある園児は、保護者と職員で密に連絡を取り対応している	C	アレルギーに関する研修を実施。

【8 子育て支援、地域交流】

①	園児の送迎時に、園児の様子を保護者に伝えている	A	
②	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	B	
③	保育参観などの機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	B	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、個別での面談などを行った。園での様子を動画や写真で保護者にお伝えすることで、より信頼関係がまじったと感じる。
④	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	C	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為受け入れを中止したが、その必要性については継続して伝えていく必要がある。